

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	小山 久美
主な担当科目	バレエ演習 I ①,バレエ演習 I ②,バレエ演習 I ③,バレエ演習 I ④,バレエ・クラス I ①,バレエ・クラスⅢ①,バレエ・クラスⅢ②,バレエ演習Ⅳ①,公演実習①,公演実習②,舞台実習
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	バレエ実技の指導はクラス単位で行われるが、そのなかで学生個人の成長につながるような指導をこころがける。日々の地道な積み重ねや自分自身に厳しく向き合うことが求められるなか、考える力やチームワークの重要性に対する理解を促し、向上心と達成感の好循環を目指す。
2023年の教育に関する自己評価	コロナ禍の影響かもしれないが、例年よりも学生との対話が難しい面があったと感じ、より積極的なコミュニケーションの構築に努めた。学生の個性を活かした課題や演目を工夫して、教育内容の充実を図り、学生の満足度につながったと思う。
2023年のFD活動に関する自己評価	教職員との情報共有を積極的に行い学内全般に対する理解を深め、指導内容への反映や充実に努めている。
授業改善のために取り入れた研修内容	ジェンダーの問題に対する理解が深まり、必要に応じて対応する準備ができた。入学前の教育状況を知ることで、学生への理解が深まった。

2023年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1572 教員名:小山 久美

1)アンケート結果に対する所見

学生によるアンケート結果より、授業内容は概ね肯定的に受け止められていることがわかる。受講者数が以前に比べて減少したことは結果的に、学生一人一人に対してより目が届き丁寧な指導が実現できていると感じる。バレエ実技の授業を通して、学生たちのダンサーとしての資質を向上させるとともに、問題への対応力や集中力など、身体的なテクニックだけにとらわれることなく個々の成長の手助けをしていきたいと思っている。

2)要望への対応・改善方策

要望は特に見受けられなかったが、一つの物事に取り組む中で悩みや困難にぶつかるであろうことは容易に想像されることであり、学生の精神的なサポートも怠らないようにしていこうと思う。

3)今後の課題

それぞれの学生に対応した細やかな指導を心掛けると同時に、多様なバレエ作品に取り組むことができるよう活気のある授業に向けた体制を構築できるよう目指していきたい。

以上